

## 学 界 報 告

### 東京ボナヴェントゥラ研究所について

昨秋ミュンヘン大学グループマン研究所長ヴェルナー・デットロフ博士より、聖アントニオ神学院内に、ボナヴェントゥラ研究所を創立したいという申し出があり、昭和58年10月2日、当神学院においてデットロフ博士の講演を中心に発会式を行なった。本研究所の目的はボナヴェントゥラを中心にしたフランシスコ会スコラ学の研究の促進と、これを基礎にして西欧思想と仏教をはじめとする東洋思想との接点を模索することにある。現在すでに当神学院における関係図書の整備、加藤信朗氏を中心とするボナヴェントゥラ原典読書会が行われつつあり、マウルス・ハインリッヒス著・宮沢みどり訳・福田勤監修『日本の思想家に見るアシジのフランシスコ』が刊行されている。また本年秋にはデットロフ博士の来日を期してシンポジウムを開催すること、『東京ボナヴェントゥラ研究所紀要』の刊行が予定されている。さらに長期的展望に立ってボナヴェントゥラの原典対訳とその註釈書を刊行していくべく準備を進めている。以上の次第であるので、中世哲学会会員各位の御参加、御協力をお願い申し上げたい。なお詳細については、聖アントニオ神学院（〒158. 東京都世田谷区瀬田4の6の1、電話03-700-0652代）内「東京ボナヴェントゥラ研究所」理事長・福田勤宛にお問い合わせ頂きたい。

現在役員は次の通りである。

理 事 長	福田 勤
研究所長	坂口昂吉
委 員	大鹿一正, 小山宙丸, 坂口ふみ
図書館長	石井健吾

坂口昂吉